

日本IVR学会 第18回専門医試験の実施について

理事長 吉川公彦

日本IVR学会では専門医制度を制定し、IVRの発展と普及に貢献する専門医の認定を行っております。

下記の日程で第18回専門医認定試験を行います。受験応募方法等の詳細は次ページをご覧ください。専門医制度規約・細則の規約は本学会ホームページ (<http://www.jsir.or.jp/>) に掲載しております。

記

1. 申請資格

次に定めるすべてに該当すること。

- a) 日本国の医師免許を有すること。
- b) 継続して5年以上本学会会員であること。(入会から2019年7月31日までに満5年が経過していること) 2014年7月31日までに入会された会員番号3706番までが受験可能。
- c) 本学会の認めるIVRに関連する以下学会の専門医に相当する資格を有すること。
 - ①放射線診断専門医、放射線治療専門医
 - ②日本脳神経血管内治療学会
 - ③日本脈管学会
 - ④その他(委員会での検討・認定を要する)
- d) 本学会が認定した修練施設において、2年以上のIVRの修練を行っていること。

2. 試験日程

日 時：2019年11月17日(日)

場 所：アジュール竹芝(東京都港区海岸1-11-2)

3. 試験方法

書類審査, 筆記試験および口頭試問 *筆記試験の問題数は60問

●お問い合わせおよび書類送付先

日本IVR学会事務局

〒355-0063 埼玉県東松山市元宿1-18-4

TEL 0493-35-4250 FAX 0493-35-4236

E-mail : office@jsir.or.jp ホームページ : <http://www.jsir.or.jp/>

IVR 専門医試験受験申請にあたって

● 提出書類

- 1) 専門医認定試験受験申込書^{*1} オリジナルと、そのコピーを4部
修練施設にて指導管理責任者であるIVR専門医より署名を受けること。
なお、当該指導管理責任者は後述の症例リスト(200例)の記載内容に責任を持つこと。
 - 2) 受験資格を証明する資料 医師免許のコピー1部 専門医認定医証のコピー1部
 - 3) 臨床症例リスト^{*1} (200例) (手技別にソートしたもの) 4部
2014年1月以降に術者または第一助手として施行したIVR 200例^{*2}に関し、学会ホームページにリンクする臨床症例リスト^{*1}の形式で作成したものを提出する。なお、このリストは、IVR専門医研修記録簿^{*1}に記載されている中項目・小項目^{*3}の手技別にソートし提出する。200例を超える研修実績がある場合も200例で申請すること。
注：1. 3) 4) に関し事務局からの問い合わせに速やかに応じられるものとする。
2. 血管造影は症例には含めない。
 - 4) 種類別リスト^{*1} 4部
上記「IVR臨床症例リスト(200例)」症例のIVR種類別リスト
注：1. 「IVR種類別リスト」内の詳細症例数は一項目で100例を超えてはならない。
2. 肝腫瘍の塞栓術、動注術は合算で一項目として扱い、100例を超えないこと。
 - 5) 実績一覧^{*1} 4部
2014年1月以降に行ったIVRに関する学術論文と学術発表併せて10編の一覧。
共著者、共同演者も可とするが、1編は筆頭著者または筆頭演者であること。
注：1. E-pubは学術論文として認めるがin press(電子媒体でも未公開)は不可。
2. 商業誌、Letter to the editorは不可とする。
3. ポスター発表も学術発表に含める。
4. 同一内容の複数の学会での発表(シンポジウムを除く)は加えられない。
 - 6) 上記学会発表・論文等の一覧に対する付記資料^{*2} 各4部
 - a) 論文は掲載誌、発表年月、論文名、著者名が確認できるページのコピーを添付。
 - b) 学会・研究会発表は、発表者・共同演者(申請者名を含む)、演題名、学会・研究会名、開催日時・場所が記載されているプログラム・抄録ページのコピーを添付。
 - c) 資料が複数枚にわたる場合は業績ごとにホチキスで留めて提出する。
 - d) 題名だけではIVRに関する学術論文、学術発表であることが不明な場合は、演題がIVRに関する内容であることを確認できる論文コピー、抄録等も添付すること。
 - 7) 受験料・登録料の振込票のコピー 1部
 - 8) IVR専門医研修記録簿内「IVR専門医 研修カリキュラム達成度」1部(任意提出)
 - 9) 必要書類チェックリスト^{*1} 1部
- * 1. IVR学会ホームページ(<http://www.jsir.or.jp/kaiin/doctor/test/>)よりダウンロード。
* 2. 「研修実績表(IVR 200例のリスト)」に関しては症例数、対象期間に留意し、「IVRに関する学術論文と学術発表の実績」に関しても添付書類に不備がないよう努めること。不備のある場合は、書類審査料3万円は返却しない。
* 3. 中項目・小項目はIVR専門医研修記録簿^{*1}研修カリキュラム達成度に記載されている項目を参照すること。

● 申請方法

(1) 専門医認定試験受験申込書について

所定の専門医認定試験受験申込書を使用し、本学会会員番号等、必要事項を明記すること。
研修実施施設が複数ある場合には、全ての施設名を記入すること。

(2) 上記1), 3), 4), 5), 8), 9) の一覧表フォーマットは本学会ホームページ <http://www.jsir.or.jp/>にてダウンロード可能。必要事項を記入し、必ずA4判縦でプリントアウトしたものを送付すること。電子データは受け付けない。

(3) 受験料・登録料について

50,000円(書類審査料・受験料30,000円, 登録料20,000円)を以下口座に振り込むこと。不合格(書類審査及び筆記試験, 口頭試問)の際は, 登録料20,000円のみ返金。

一般社団法人 日本インターベンショナルラジオロジー学会 代表理事 吉川公彦 専門医会計 シヤダンハウジン ニホンインターベンショナルラジオロジーガツカイ センモンイカイケイ 三菱UFJ銀行 東松山支店 普通 0051079
--

- ・提出書類を事務局宛に郵送すること。申込書が届き次第, 事務局から受領メールを送付する。
- ・封筒の表に「専門医試験受験申込書在中」と朱筆すること。

● 受験申込書受付期間

2019年8月1日(木)～9月5日(木)消印有効

注: 期限を過ぎてから到着した書類は, 未開封のままご返却します。

2020年実施の第19回IVR専門医試験より, 下記の通り受験資格を変更いたします。
受験を予定されている会員はご確認ください。

1) 申請資格として次の項目を追加する。

- ・過去5年間のうち, IVR学会総会に2回以上出席していること。

2) 提出する実績一覧を次の通り変更する。

IVRに関する学術論文と学術発表の一覧

- ・変更前: 10編
- ・変更後: 5編

ただし, 次の通り定める。

- ・学術論文と学術発表の業績をいずれか, または合わせて5編申請する。
- ・1編は必ず筆頭演者または筆頭著者であること。
- ・その他の4編は, 共同演者または共著者でもかまわないが, それを証明する書類の提出が可能であること。
- ・筆頭著者の業績がない場合, 1編は日本IVR学会の定める更新認定10単位以上の学術集会での筆頭演者発表とする。

A. 学術論文の業績対象となる学術雑誌は以下の通りとする。

- a. 日本インターベンショナルラジオロジー学会雑誌 (IVR会誌)
- b. Interventional Radiology (Official Journal of JSIR online)
- c. インパクトファクターが付与された学術雑誌

B. 学術発表の業績対象となる学術集会は以下の通りとする。

日本IVR学会の定める更新認定5単位以上の学術集会